

全般季節予報支援資料 1か月予報

2025年4月24日

予報期間：4月26日～5月25日

この資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

特に注意を要する事項

東・西日本では、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。

出現の可能性が最も大きい天候

北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

全般1か月予報

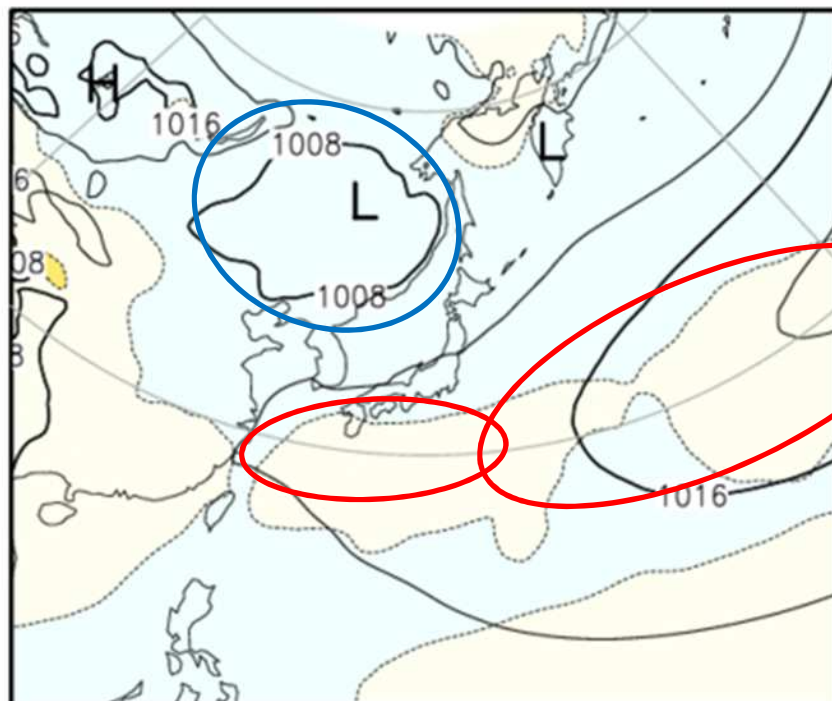
1か月		気温(%)	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
		低並高	少並多	少並多	少並多
北日本	日本海側	20:30:50	30:30:40	40:40:20	
	太平洋側		30:30:40	40:40:20	
東日本	日本海側	10:30:60	30:40:30	30:40:30	
	太平洋側		40:40:20	20:40:40	
西日本	日本海側	20:30:50	40:40:20	20:40:40	
	太平洋側		40:40:20	20:40:40	
沖縄・奄美		30:30:40	30:30:40	40:30:30	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3~4週目(%)
	低並高	低並高	低並高
北日本	20:50:30	20:30:50	20:40:40
東日本	20:40:40	10:20:70	20:40:40
西日本	30:50:20	10:30:60	20:40:40
沖縄・奄美	40:40:20	20:50:30	20:40:40

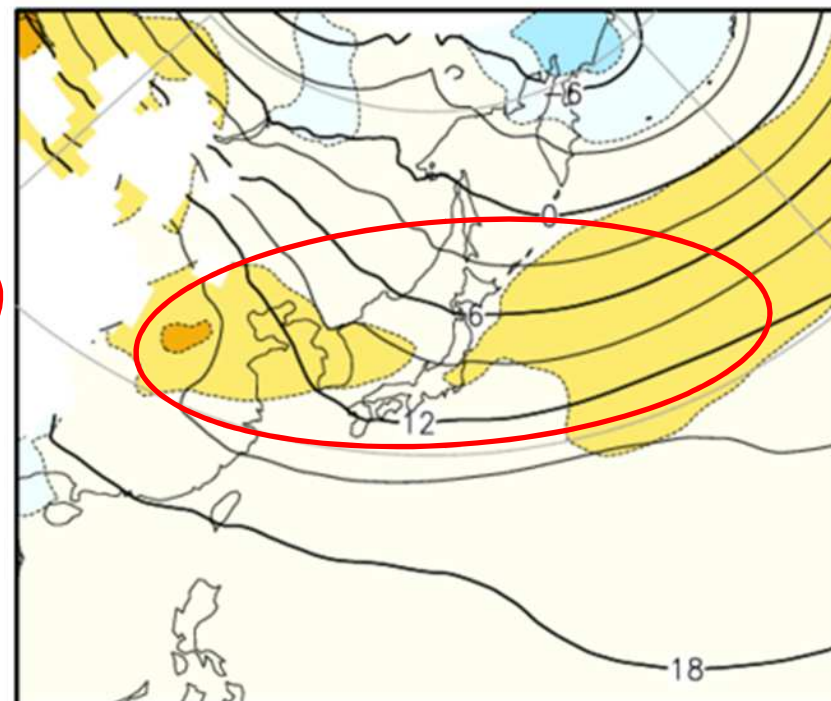
全般予報のポイント

- ・暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は、北・東・西日本で高いでしょう。特に、東・西日本では、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。
- ・低気圧や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の日照時間は、北日本で平年並か少ないでしょう。
- ・高気圧に覆われやすい時期があるため、東日本太平洋側と西日本では、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、向こう1か月の日照時間は平年並か多いでしょう。

海面気圧(1か月)



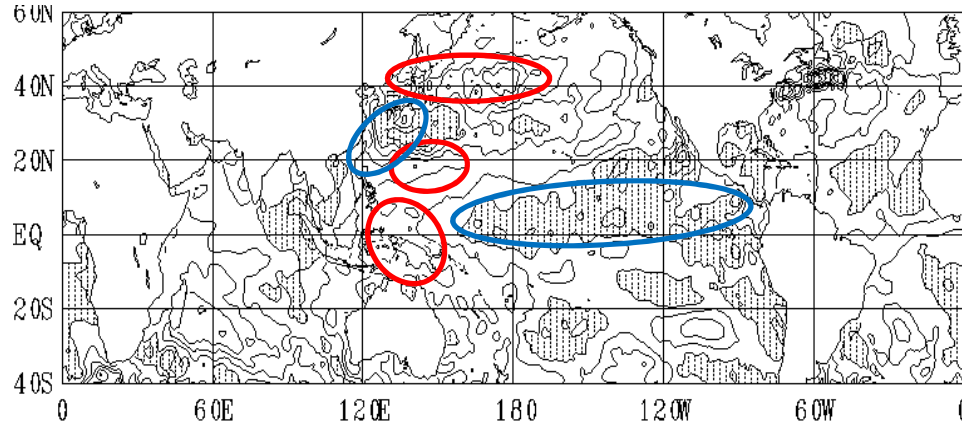
上空約1500mの気温(1か月)



1か月平均の海面気圧(左図)は、中国東北区付近に低気圧が予測され、日本の東の高気圧の縁を回って湿った空気が流入しやすいため、北日本では低気圧や湿った空気の影響を受けやすい時期があるでしょう。一方、東シナ海付近から日本の南にかけて平年より高く、東・西日本を中心に高気圧に覆われやすい時期があるでしょう。

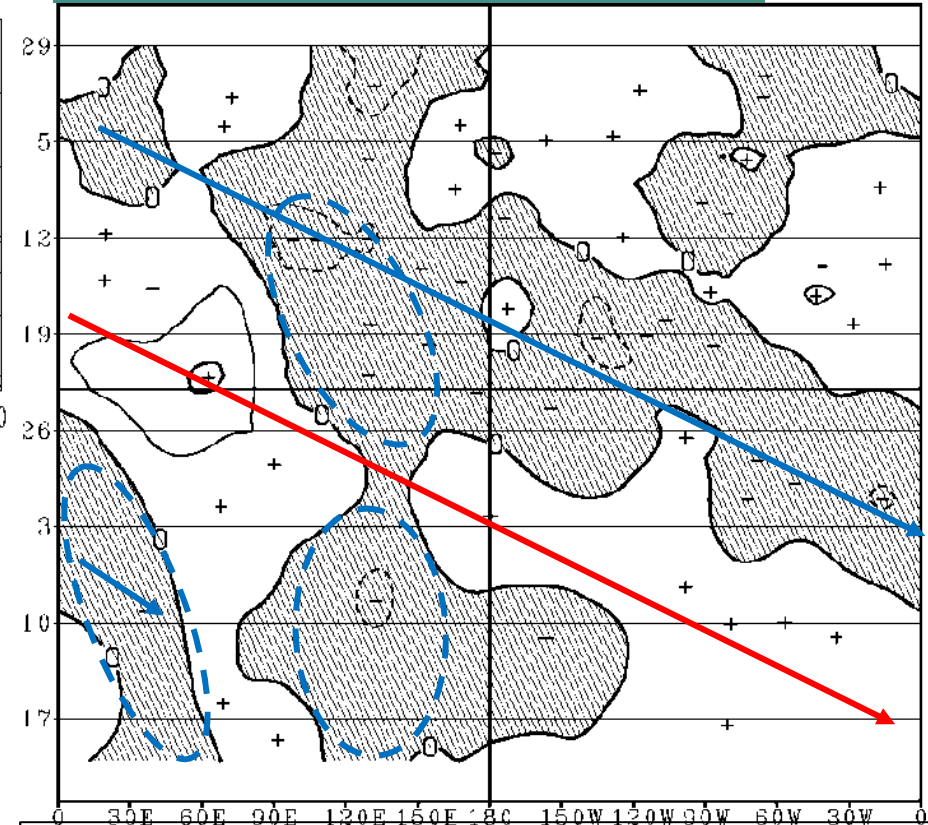
上空約1500mの気温(右図)は、日本付近は平年より高く、北・東・西日本を中心に暖かい空気に覆われやすいでしょう。

SST偏差



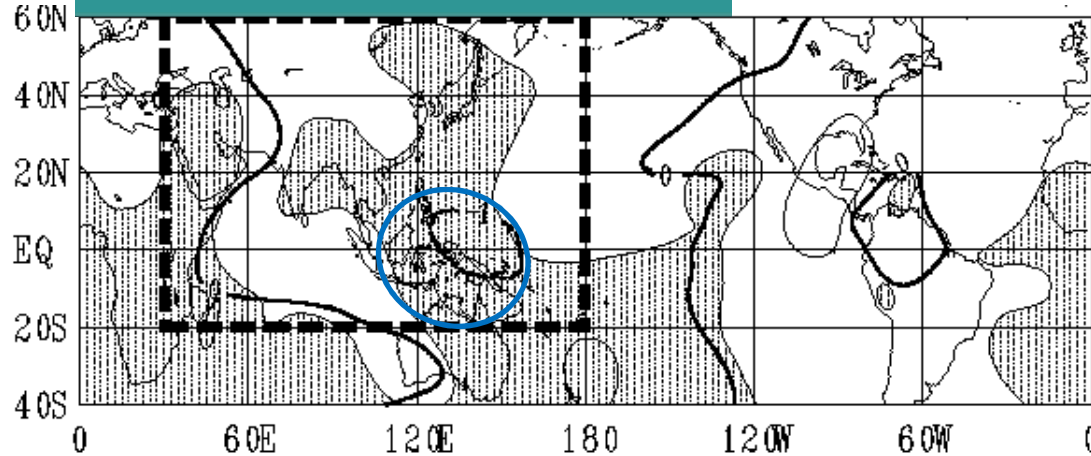
熱帯域では、ニューギニア島周辺とフィリピンの東で正偏差、太平洋中部から東部で負偏差。
日本付近では、日本の南で負偏差、日本海北部から日本の東にかけて正偏差。

200hPa速度ポテンシャル偏差



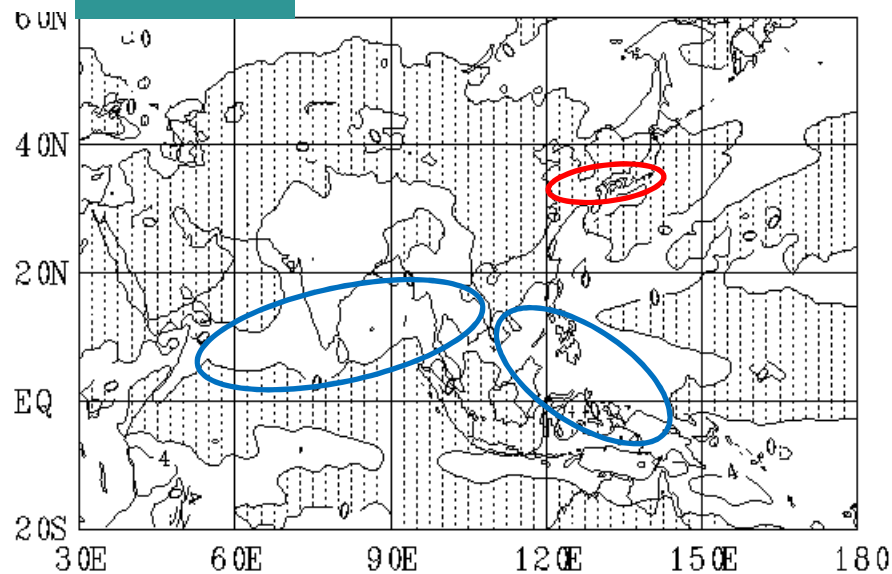
全般に偏差は小さい。インドネシア付近では、やや対流が活発で期間内は継続。インド洋では対流不活発の後、MJOが東進し、期間の後半はやや対流が活発となると予測される。

200hPa速度ポテンシャル



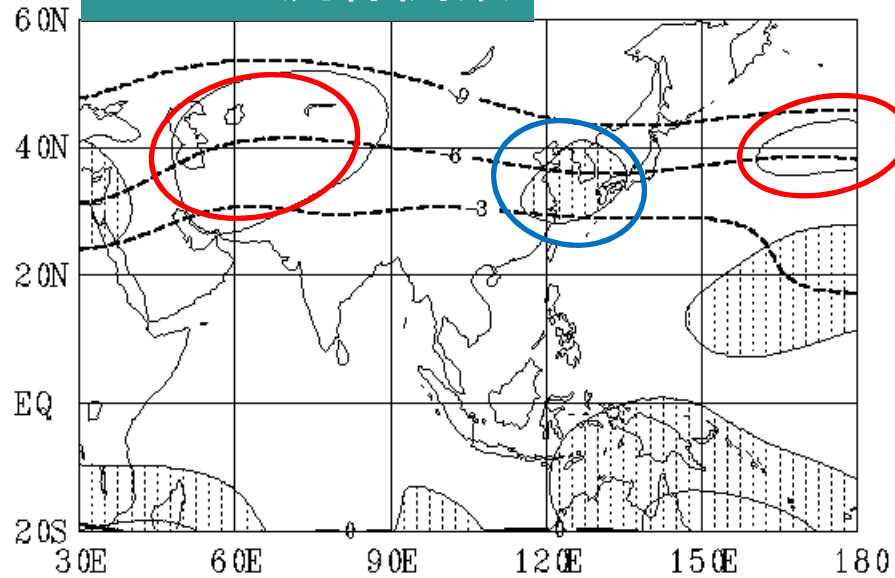
インドネシア付近で上層発散偏差だが、全体的に偏差は小さい。

降水量



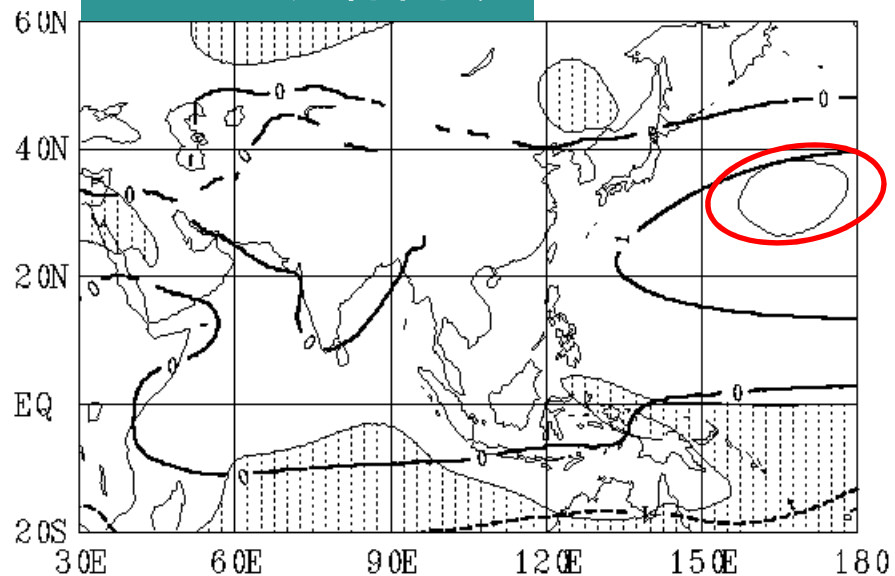
フィリピン付近からインドネシア付近と、インド付近からインドシナ半島付近にかけて多雨偏差。日本付近では東・西日本を中心に少雨偏差。

200hPa流線関数



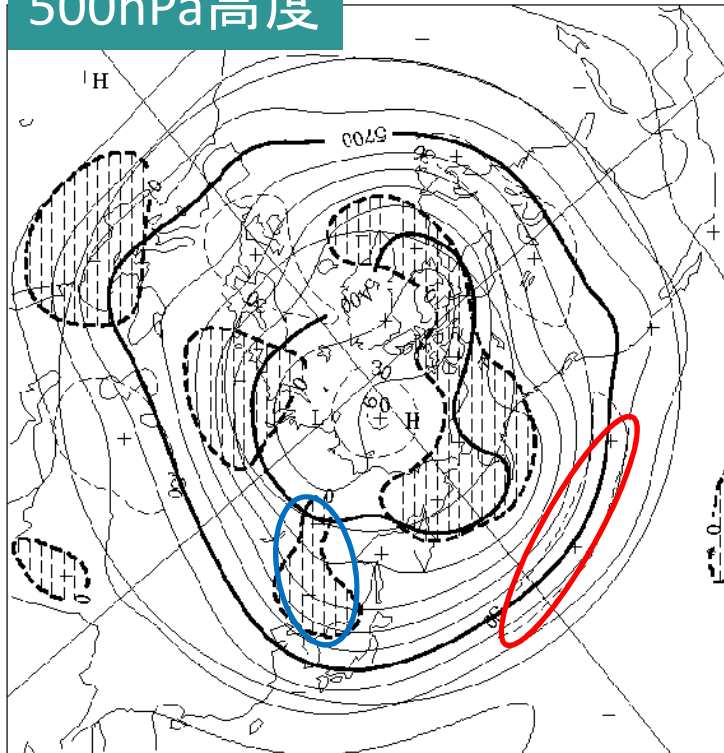
中央アジア付近で高気圧性循環偏差、朝鮮半島付近を中心に低気圧性循環偏差。また、日本のはるか東で高気圧性循環偏差。

850hPa流線関数



日本のはるか東から日本のはるか東で高気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。

500hPa高度



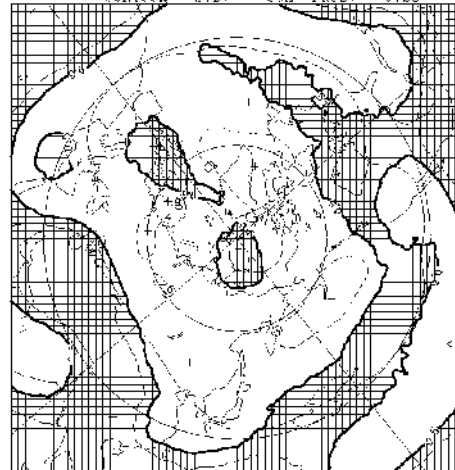
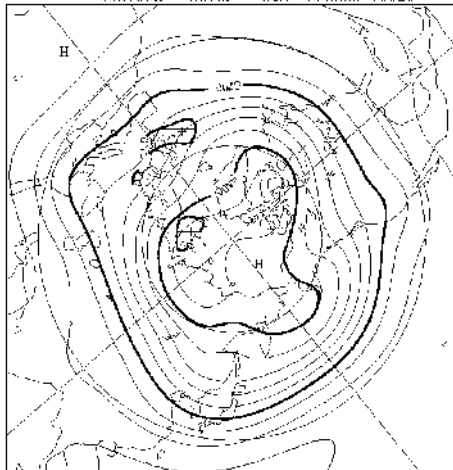
中央シベリアから中国東北区にかけて負偏差。一方、アリューシャンの南で正偏差。日本付近は正偏差だが、偏差は小さい。

500hPa SPREAD AND HEIGHT

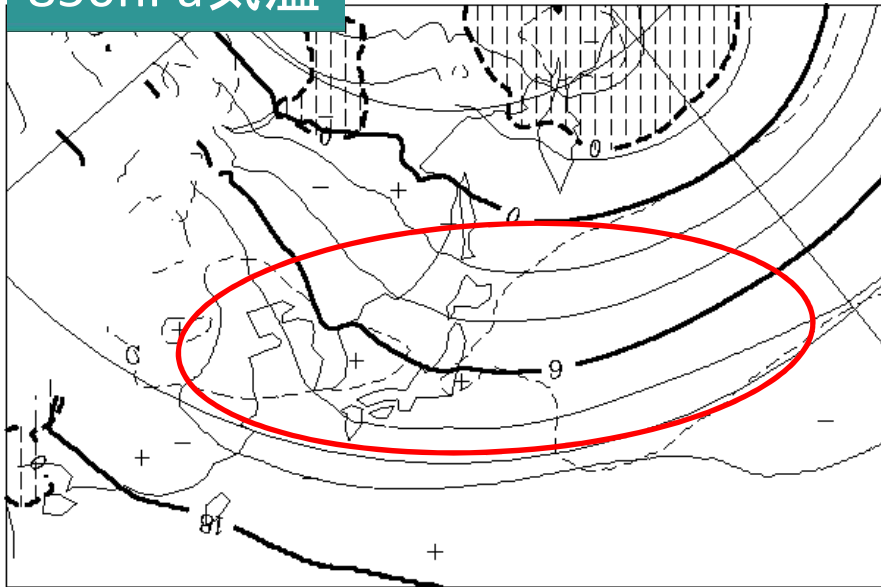
PROF. OF HEIGHT AND S.D.

CONTOUR HEIGHT: 600 SPREAD: 0.25

CONTOUR S.D.: 20m PROB: 0.25

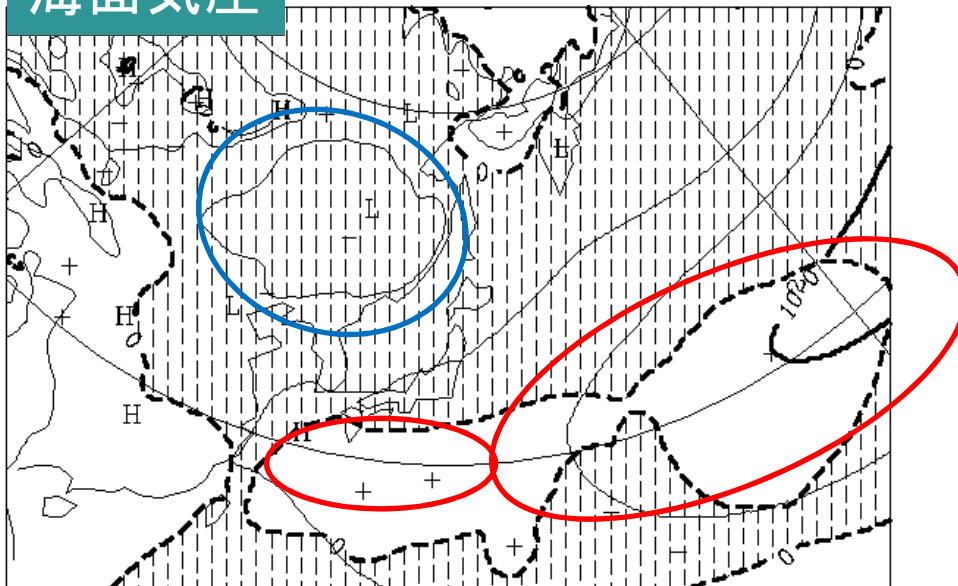


850hPa気温



日本付近は正偏差に覆われる。
北・東・西日本を中心に暖かい
空気に覆われやすい。

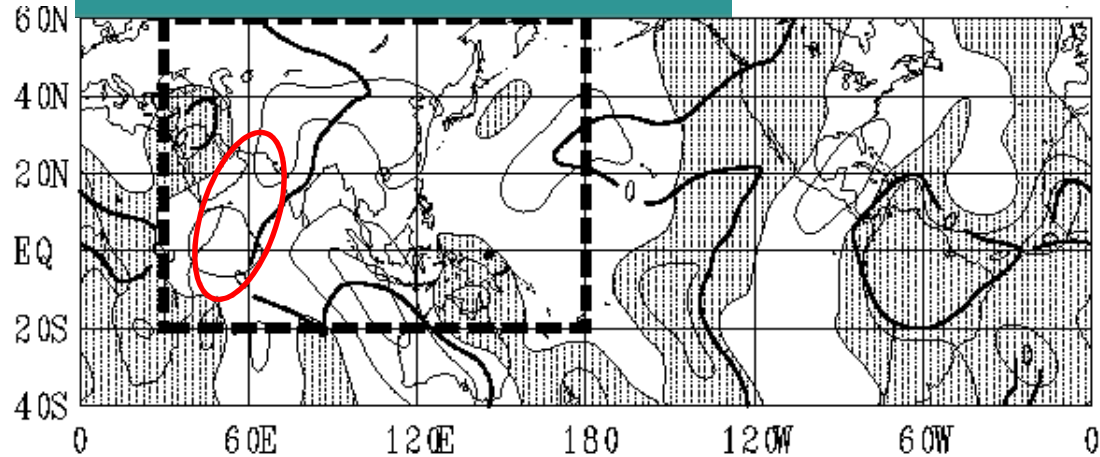
海面気圧



中国東北区付近では低気圧を
予測。北日本では、日本の東
の高気圧の縁を回り流入する
湿った空気の影響を受けやす
い時期がある。

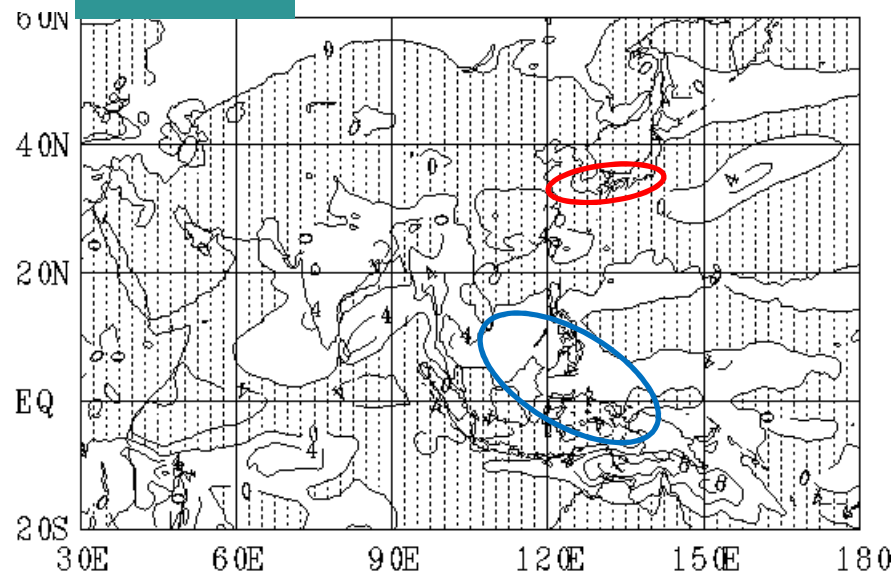
一方、東シナ海付近から日本
の南にかけて正偏差。日本付
近は南北の温度差が小さく低
気圧が発達しにくいほか、東・
西日本を中心に高気圧に覆わ
れやすい時期がある。

200hPa速度ポテンシャル



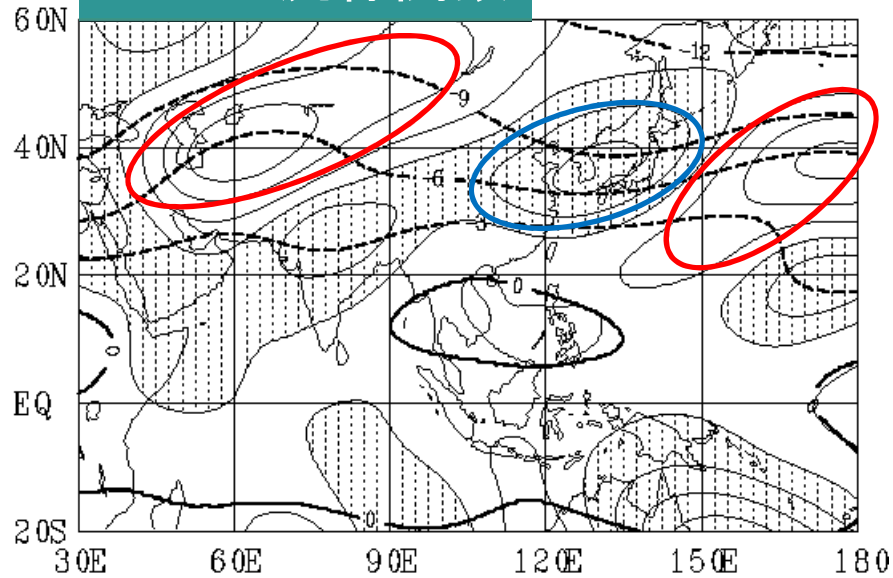
インド洋熱帯域西部付近で
上層収束偏差。

降水量



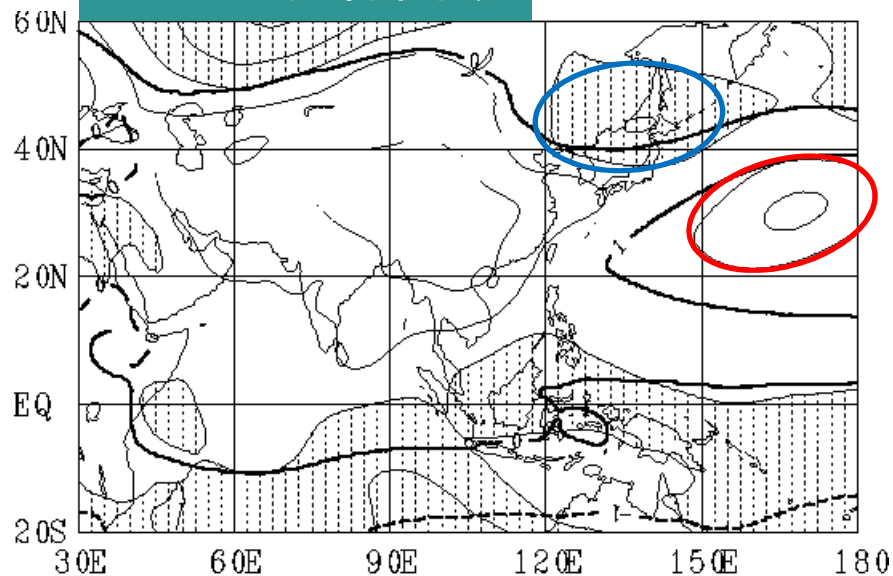
フィリピン付近からインドネシア
付近で多雨偏差。
日本付近は東・西日本を中心
に少雨偏差。

200hPa流線関数



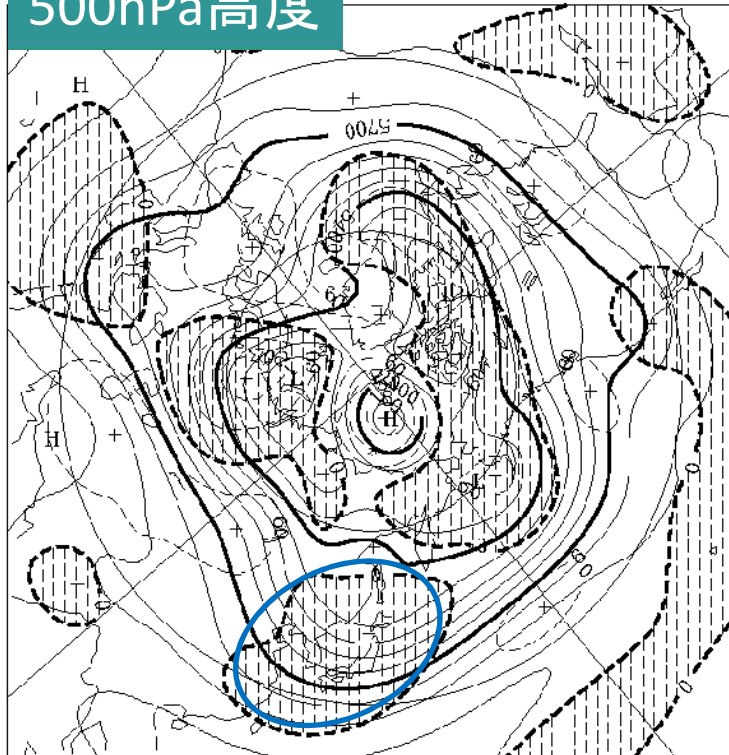
中央アジア付近で高気圧性循環偏差、朝鮮半島付近を中心に低気圧性循環偏差、日本の東で高気圧性循環偏差。

850hPa流線関数



中国東北区付近から北日本にかけて低気圧性循環偏差、日本の東で高気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。

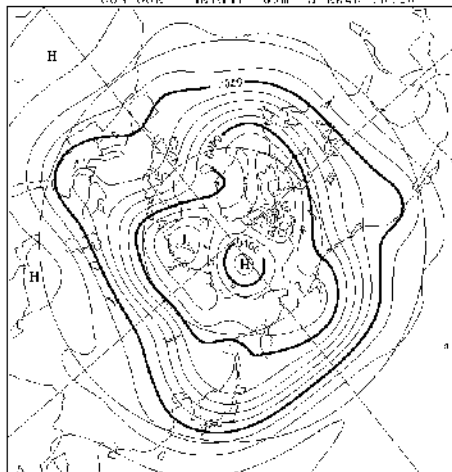
500hPa高度



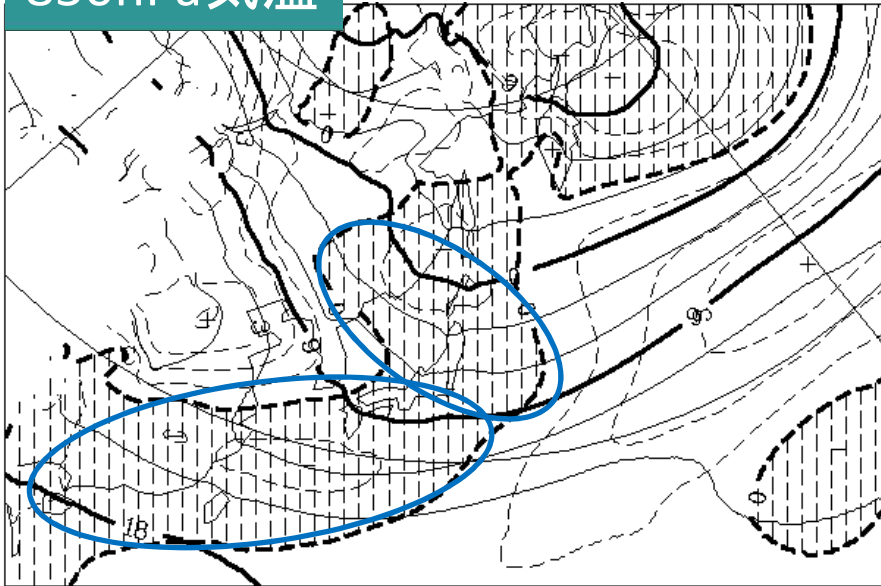
日本付近は負偏差に覆われる。
また、全国的におおむね負の
高偏差確率50%以上の領域に
覆われる。

500hPa SPREAD AND HEIGHT
CONTOUR HEIGHT: 63m SPREAD: 0.20

PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.
CONTOUR S.D.: 33m PROB.: 0.25

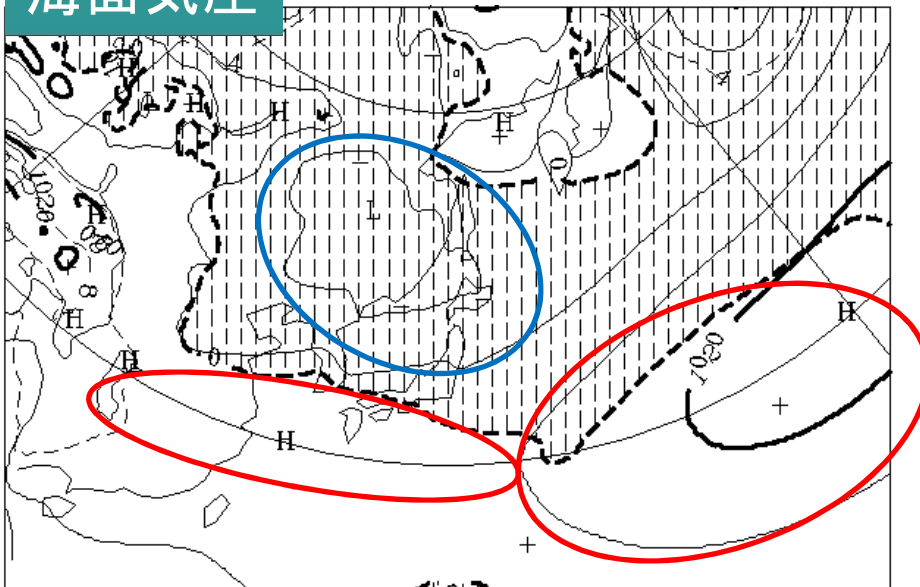


850hPa気温



日本付近はおおむね負偏差に覆われる。

海面気圧



中国東北区付近から北日本にかけて負偏差で、中国東北区では低気圧を予測。一方、日本の東の高気圧が日本の南東付近まで張り出す。北日本付近には高気圧の縁を回り湿った空気が流入しやすく、北日本では低気圧や湿った空気の影響を受けやすい。また、沖縄・奄美では前線や、高気圧の縁を回り流入する湿った空気の影響をやや受けやすい。東シナ海から日本の南を中心に高気圧となっており、東・西日本を中心に移動性の高気圧に覆われやすい。

想定される天候

北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、移動性の高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

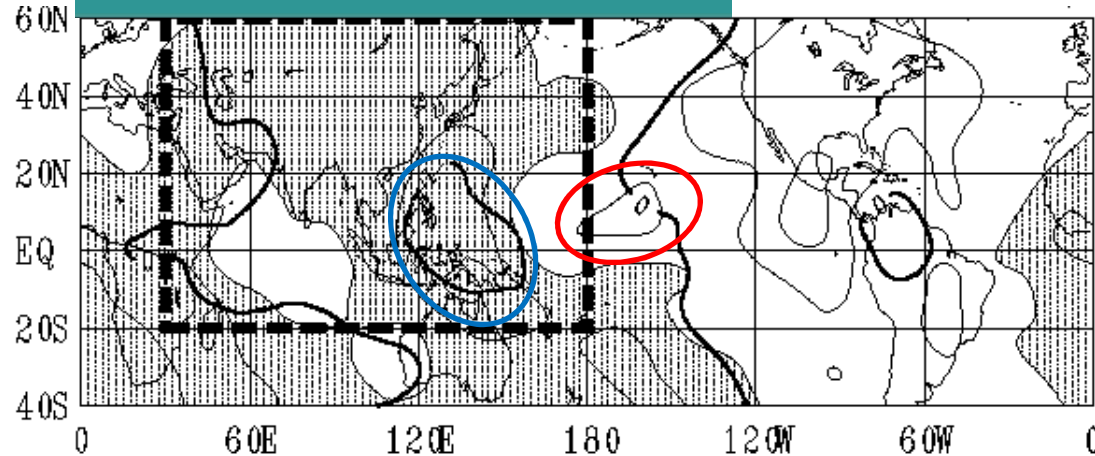
<気温>

- ・北・西日本では平年並。
- ・東日本では、暖かい空気に覆われやすい。
- ・沖縄・奄美では、高気圧からの北東風による影響を受けやすい。

<天候>

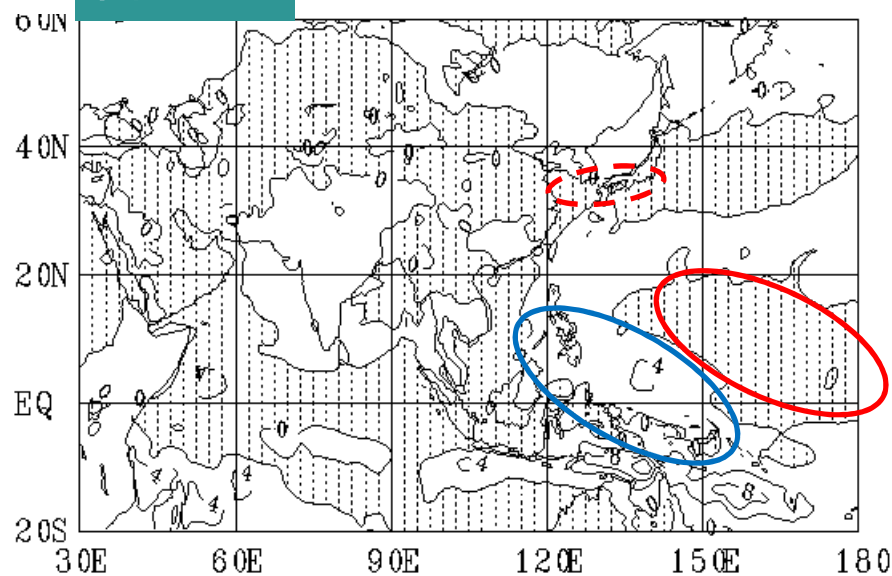
- ・北日本では、低気圧や湿った空気の影響を受けやすく、やや多雨寡照傾向。
- ・東日本太平洋側と西日本では、移動性の高気圧に覆われやすい。
- ・沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響をやや受けやすく、やや寡照。

200hPa速度ポテンシャル



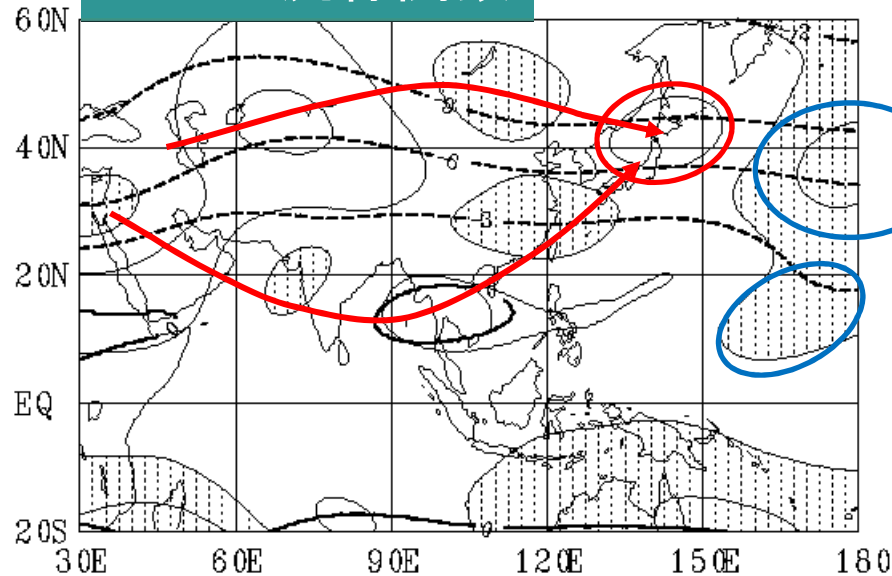
インドネシア付近で上層発散偏差。日付変更線付近で上層収束偏差。

降水量



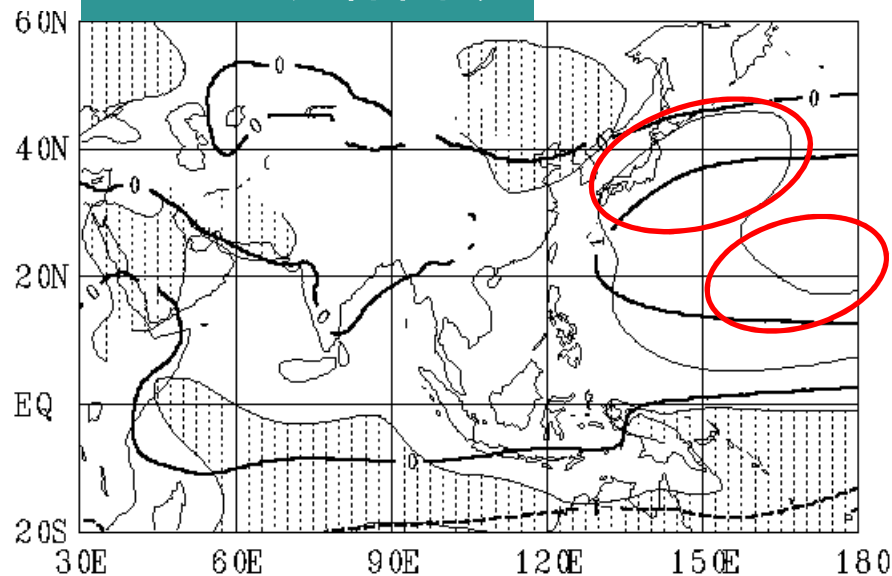
インドネシア付近で多雨偏差。日付変更線付近の西側で少雨偏差。
日本付近は東・西日本を中心に少雨偏差だが、偏差は小さい。

200hPa流線関数



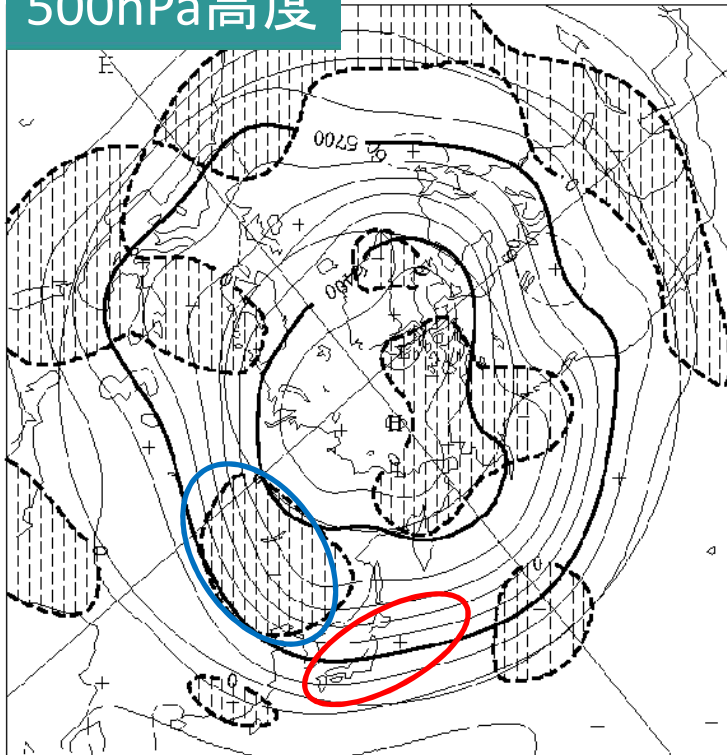
亜熱帯ジェット気流と寒帯前線
ジェット気流の波束伝播が合わさ
る影響で、北日本付近で高気圧
性循環偏差を強化。日本のはる
か東で低気圧性循環偏差。
また、日本の南東で低気圧性循
環偏差で、熱帯の対流活動の影
響を示唆。

850hPa流線関数



日本の東で高気圧性循環偏差で、
順圧的な鉛直構造。
日本の南東で高気圧性循環偏差
で、傾圧的な鉛直構造。

500hPa高度



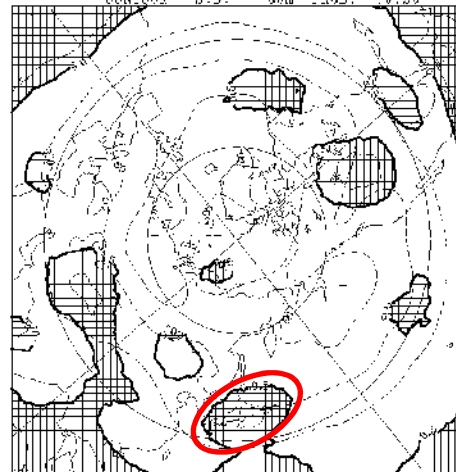
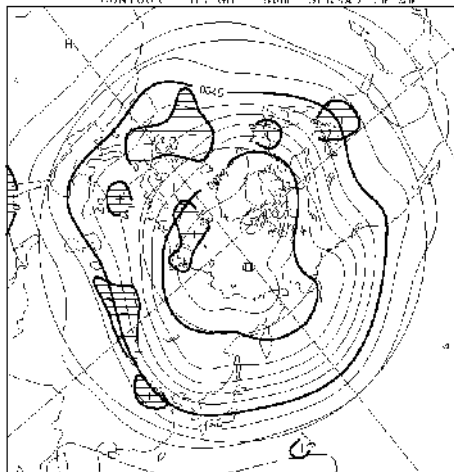
バイカル湖付近で負偏差、日本付近は正偏差。
北・東・西日本を中心に正の高偏差確率50%以上の領域に覆われる。

500hPa SPREAD AND HEIGHT

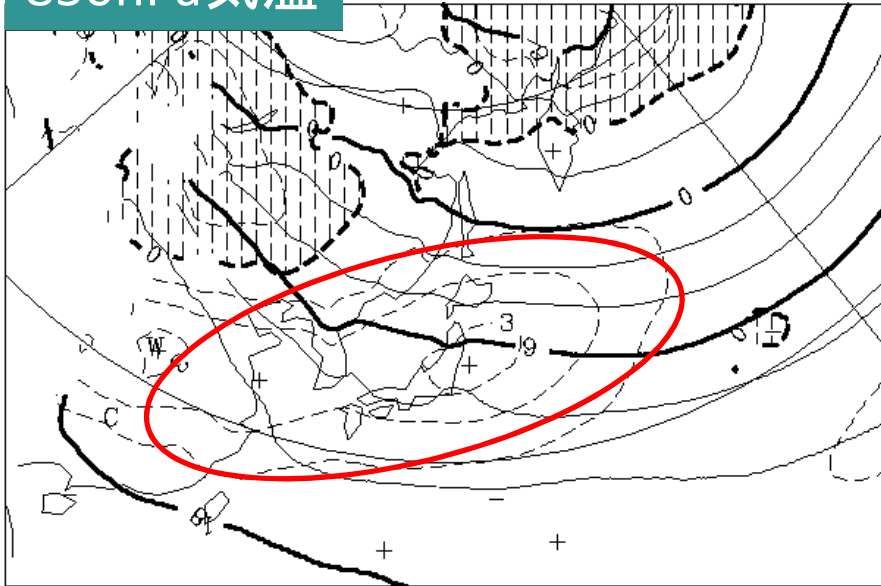
PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR HEIGHT 80m SPREAD 10 20

CONTOUR S.D. 30 40 50 60

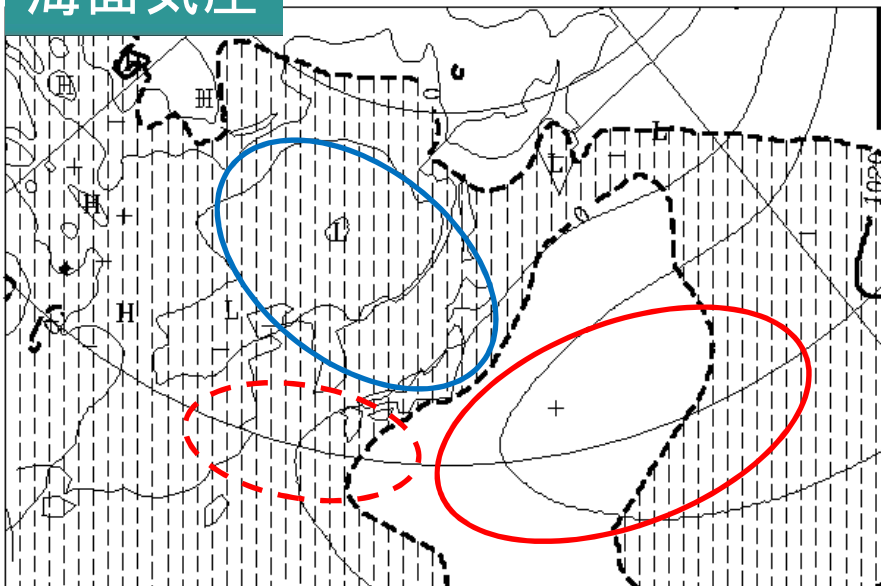


850hPa気温



日本付近は北・東・西日本を中心に正偏差が大きく、暖かい空気に覆われやすい。

海面気圧



中国東北区付近から北日本にかけて負偏差で、中国東北区では低気圧を予測。一方、日本の東の高気圧が日本の南東付近まで張り出す。北日本付近には高気圧の縁を回り湿った空気が流入しやすく、北日本では低気圧や湿った空気の影響を受けやすい。

偏差は小さいが、華中付近から日本の南にかけて高圧部となっており、東・西日本を中心に帯状の高気圧に覆われやすい。

沖縄・奄美では前線や高気圧の縁を回り流入する湿った空気の影響をやや受けやすい。

想定される天候

北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

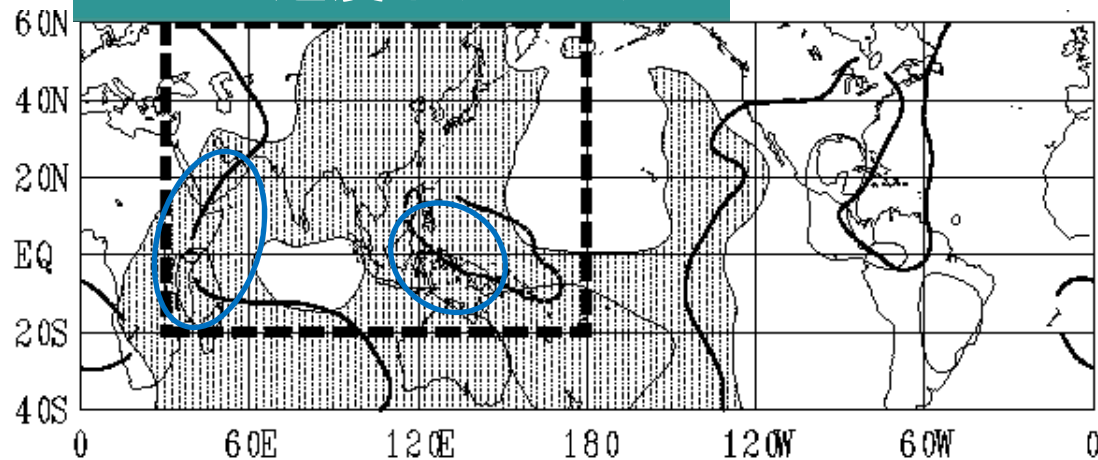
<気温>

- ・北・東・西日本では暖かい空気に覆われやすく、特に東・西日本ではかなり高くなる可能性がある。
- ・沖縄・奄美は平年並。

<天候>

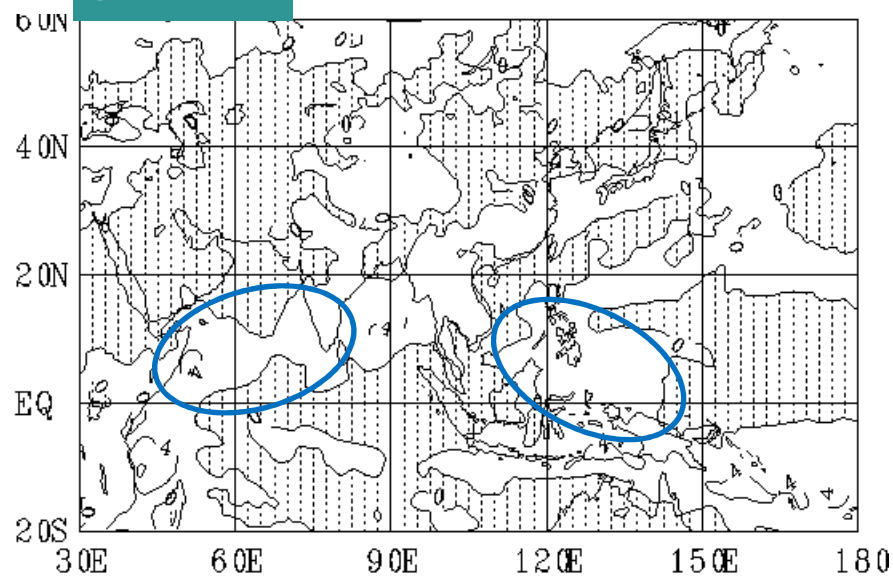
- ・北日本では、低気圧や湿った空気の影響を受けやすく、やや多雨寡照傾向。
- ・東・西日本を中心に、帯状の高気圧に覆われやすいため、東・西日本でやや少雨やや多照。
- ・沖縄・奄美では、前線や日本の東の高気圧の縁を回って流入する湿った空気の影響をやや受けやすく、やや多雨やや寡照。

200hPa速度ポテンシャル



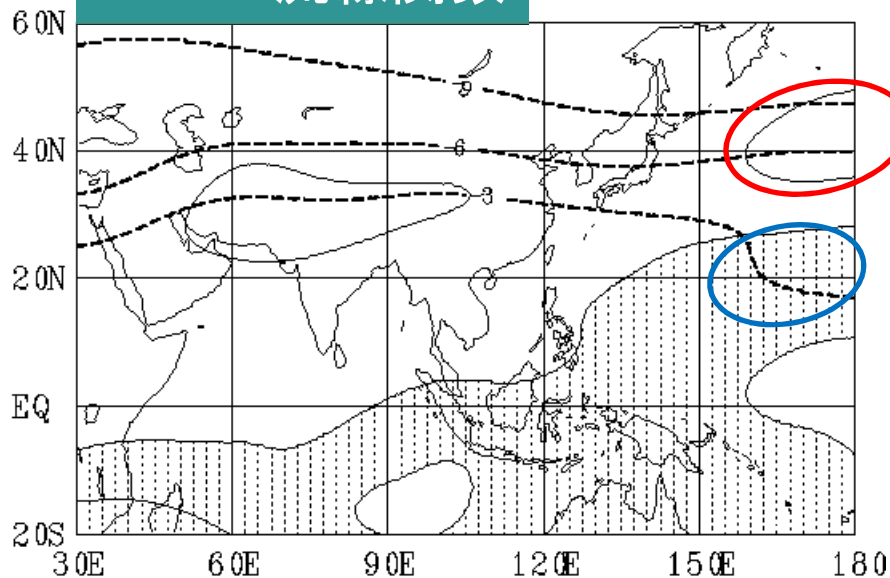
インド洋熱帯域西部とインドネシア付近で上層発散偏差。

降水量



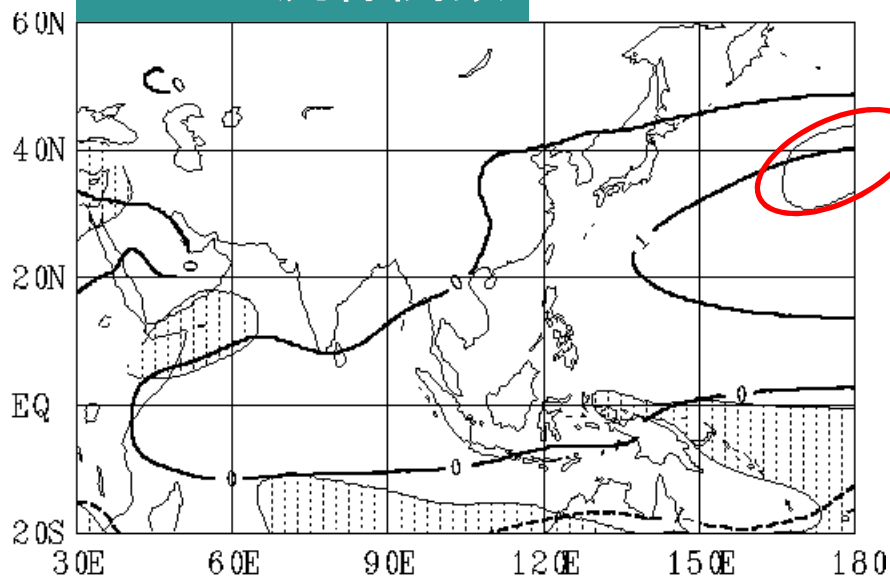
インド洋熱帯域西部とインドネシア付近で多雨偏差。
日本付近は、偏差は小さい。

200hPa流線関数



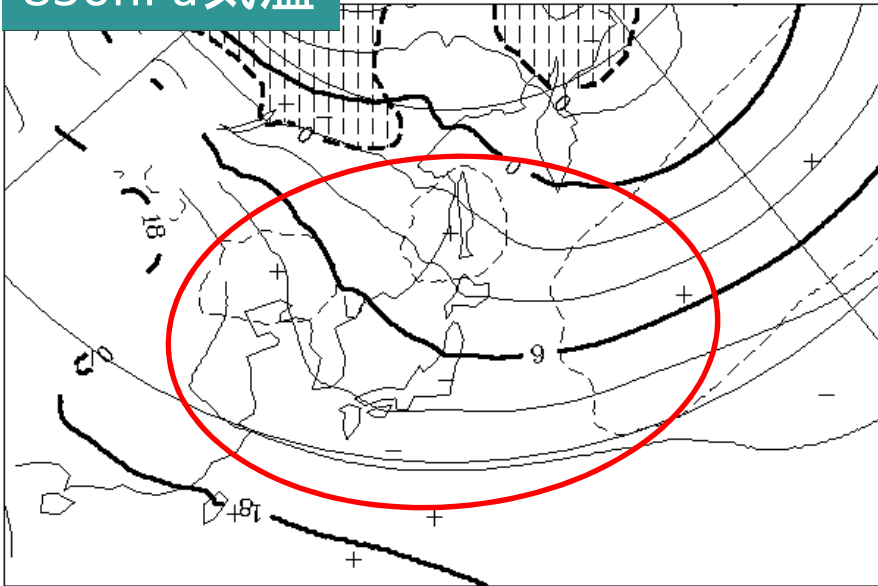
日本のはるか東で高気圧性循環偏差、日本の南東で低気圧性循環偏差。

850hPa流線関数



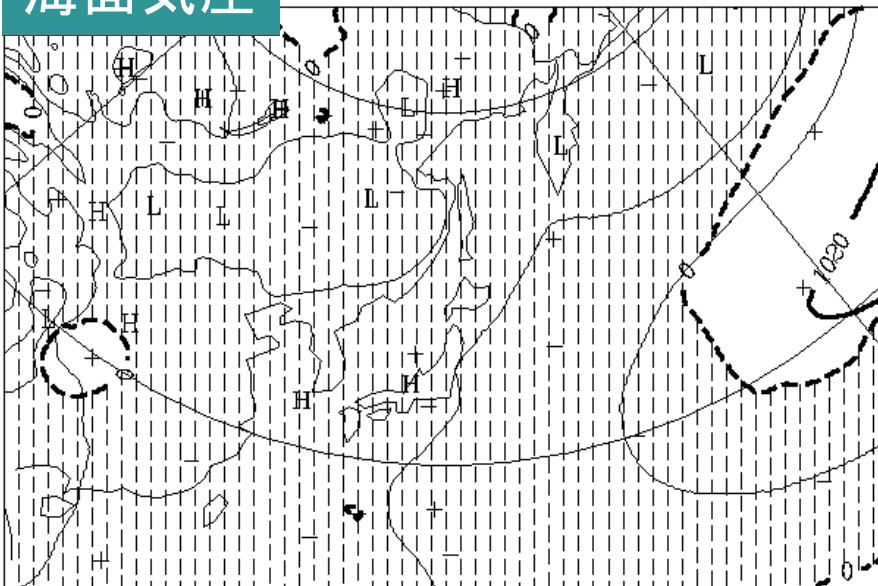
日本の東から日本のはるか東で高気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。

850hPa気温



日本付近は正偏差に覆われ、全国的に暖かい空気に覆われやすい。

海面気圧



日本付近は偏差が小さい。

想定される天候

北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

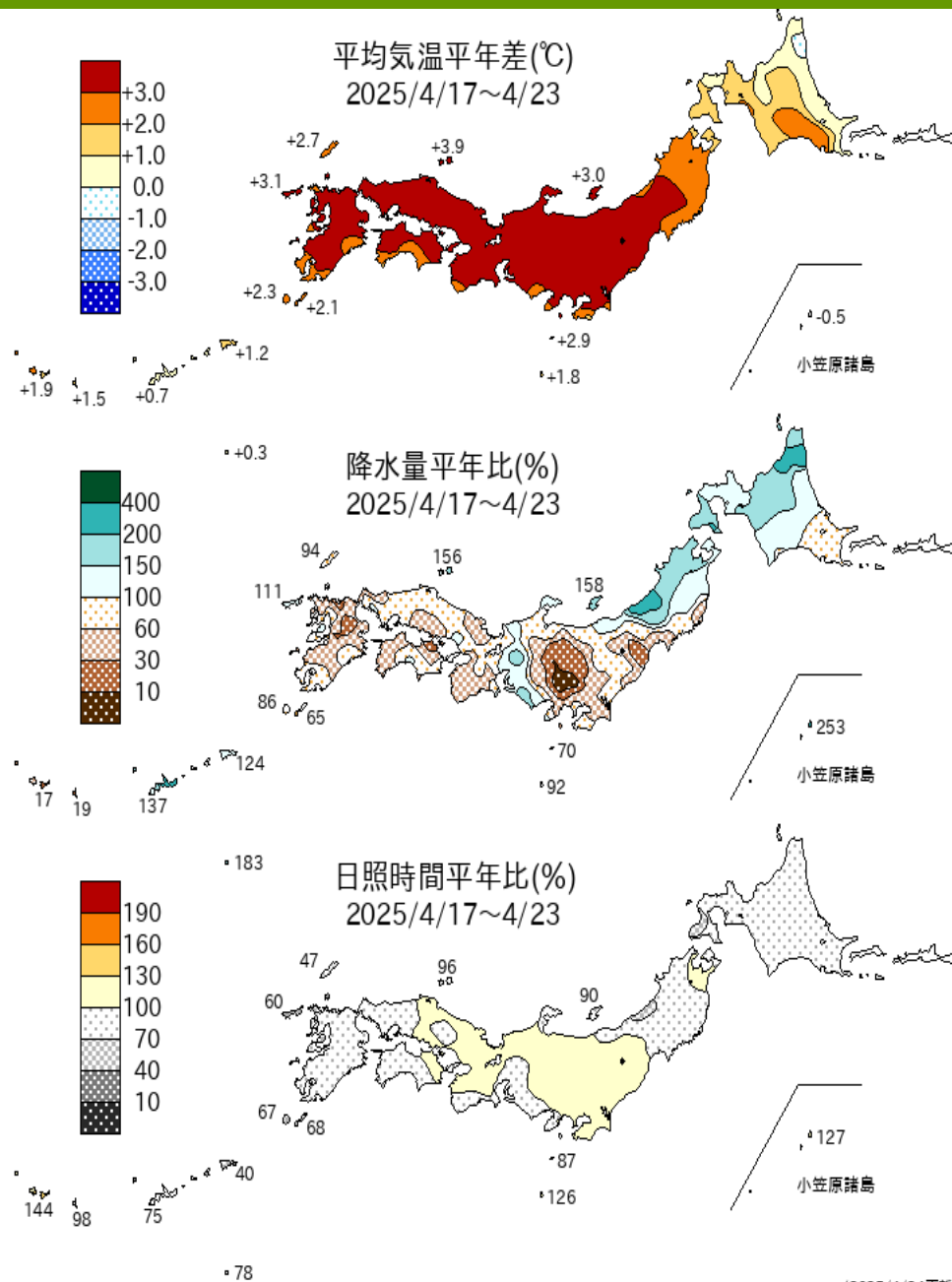
<気温>

- ・全国的に暖かい空気に覆われやすい。

<天候>

- ・全国的に平年程度の天候を見込む。

最近1週間の天候経過



最近1週間(4月17日~4月23日)は、天気は全国的に周期的に変化しました。北日本では低気圧や前線の影響で、沖縄・奄美は前線や湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。一方、高気圧が本州付近を東へ移動した影響で、東日本を中心に晴れた日が多く、東日本太平洋側を中心に降水量が平年を下回りました。

気温は、低気圧に向かって高気圧の縁を回って暖かい空気が日本付近に流れ込んだ影響で、全国的に平年より高くなり、東・西日本を中心にかなり高くなった所もありました。